

第2期朝倉市総合戦略(概要版)

2020年(令和2年)3月策定

■策定の趣旨

「第2期朝倉市総合戦略」は、この5年間で取組を検証するとともに、社会経済状況の変化等を踏まえた今後5か年の基本目標や施策を定め、朝倉市が将来にわたって安定した人口構造を維持し、活力ある地域社会を実現するために策定するものです。

■計画期間

2020(令和2)年度～2024(令和6)年度の5年間とします。

■取組の方向性

第1期の取組において効果が十分に現れていない人口の自然増及び社会増の取組を強化するとともに次の新しい視点を踏まえ、4つの基本目標の下に取り組めます。

- 関係人口の創出・拡大
- Society5.0^{※1}の実現に向けた技術の活用
- 持続可能な開発目標(SDGs)^{※2}の理念に基づく取組の推進

■総合戦略の推進

市長を本部長とする「朝倉市創生本部(庁内組織)」及び有識者や市民で構成する「朝倉市地方創生会議」において進行管理を行います。あわせて様々な主体との連携、国の支援の積極的な活用等により、取組の相乗効果を生み出し、力強く総合戦略を推進します。

また、進行管理については、PDCAサイクル(Plan:計画→Do:推進→Check:評価→Action:改善)により、毎年度、基本目標ごとの数値目標並びに重要業績評価指標(KPI)等を基に施策・事業の効果を検証します。

なお、検証結果については、速やかにHPで公表し、市民へお知らせします。

基本目標

1. 特色を活かしたしごとができる

【数値目標】

- ◆ 市内総生産額 3,430億円(2024年)
現状:3,257億5,900万円(2018年)
- ◆ 事業所従業者数 12,000人(2024年)
現状:11,672人(2018年)

2. 朝倉市へのひとの流れをつくる

【数値目標】

- ◆ 社会増減数 △1,200人(H27～H31累計)
現状:△1,477人(H22～H26累計)

3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】

- ◆ 合計特殊出生率 1.69(2018～2022年)
現状:1.44(2008～2012年)

4. 誰もが活躍できる、安全・安心で住みよいまちづくり

【数値目標】

- ◆ 「朝倉市」に住み続けたいと思う市民の割合 86.0%(2024年)
現状:83.0%(2018年)
- ◆ 「朝倉市」が住みやすいと思う市民の割合 52.0%(2024年)
現状:47.8%(2018年)

主な取組と重要業績評価指標(KPI:Key Performance Indicator)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域経済の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造品出荷額 ・ 新規創業補助利用件数 ・ 市民1人当たりの総所得 ○ 農林業の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農林水産業総生産額 ・ 担い手数 ・ 特産品・新商品開発支援件数 ○ 観光振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光入込客数 ・ 休日滞在人口(RESAS) ・ ホームページのアクセス数(観光協会のページ) 	<p>3,000億円(2024年):現状3,324億900万円(2017年)</p> <p>60件(2020～2024年累計):現状11件(2018年)</p> <p>2,836千円(2024年):現状2,804千円(2016年)</p> <p>90億円(2024年):現状89億7,700万円(2018年)</p> <p>390経営体(2024年):391経営体(2018年)</p> <p>10件(2020～2024年累計):現状0件(2018年)</p> <p>3,500千人(2024年):現状3,165千人(2018年)</p> <p>46,500人(2024年):現状44,381人(2019年)</p> <p>1,000,000件(2024年):856,357件(2018年)</p>	<p>1 貧困をなくそう</p> <p>9 産業と地域経済の活力強化</p> <p>17 気候変動に具体的な対策を</p> <p>2 質の高い雇用を創出</p> <p>11 持続可能な消費を推進</p> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>12 持続可能な生産・消費を推進</p> <p>8 経済的成長を促進</p> <p>15 持続可能な都市を構築</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係人口の創出・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)の寄附件数 ・ グリーンツーリズム受入数 ・ 関係人口と地域を結ぶコーディネート事業を行う団体数 ○ 移住・定着の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ U・I・Jターン移住支援事業利用者数 ・ 移住・定住ポータルサイト閲覧数 ・ ハローワーク管内高校の市内企業内定者数 	<p>96,200件(2024年):現状21,131件(2018年)</p> <p>1,400人(2024年):現状1,141人(2018年)</p> <p>8団体(2024年):現状1団体(2018年)</p> <p>50人(2024年):現状20人(2018年)</p> <p>10,000件(2024年):現状5,261件(2018年)</p> <p>150人(2020～2024年累計):現状34人(2018年)</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>12 持続可能な消費を推進</p> <p>17 気候変動に具体的な対策を</p> <p>8 経済的成長を促進</p> <p>14 海の豊かさを守ろう</p> <p>11 持続可能な消費を推進</p> <p>15 持続可能な都市を構築</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 結婚応援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 婚姻件数 ・ 婚活支援事業会員登録数 ○ 出産・子育てがしやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てサービスや体制が整っていると思う保護者の割合 ・ 保育所の待機児童数 ・ 「思春期ヘルスライフプラン教育」への参加者数 ○ 地域の子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・家庭・地域が連携した教育がされていると思う市民の割合 ○ 学校教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の夢や目標をもち目標達成に向けて学習する児童生徒の割合 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 88.0%(2024年):現状86.6%(2018年) 中学校 75.0%(2024年):現状69.5%(2018年) ・ 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 94.0%(2024年):現状93.3%(2018年) 中学校 95.0%(2024年):現状93.5%(2018年) ・ 体力・運動能力向上の目標を立てて運動に取り組んでいる児童生徒の割合 <ul style="list-style-type: none"> 小学校男子 80.0%(2024年):現状79.3%(2018年) 小学校女子 75.0%(2024年):現状74.3%(2018年) 中学校男子 70.0%(2024年):現状61.8%(2018年) 中学校女子 70.0%(2024年):現状68.3%(2018年) 	<p>250件(2024年):現状236件(2018年)</p> <p>100人(2024年):現状1人(2018年)</p> <p>80.0%(2024年):現状71.0%(2018年)</p> <p>0人(2024年):現状0人(2018年)</p> <p>250人(2024年):現状235人(2018年)</p> <p>54.0%(2024年):現状51.1%(2018年)</p>	<p>1 貧困をなくそう</p> <p>10 人や国・地域間の公平を推進</p> <p>2 質の高い雇用を創出</p> <p>11 持続可能な消費を推進</p> <p>3 健康な国民を育てよう</p> <p>16 働きがい、経済成長、社会参加を推進</p> <p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>17 気候変動に具体的な対策を</p> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康寿命の延伸 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康だと思う市民の割合 ・ 自立高齢者の割合 ○ 多様な主体の活躍と協働の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会、委員会、協議会等委員の女性委員の割合 ・ 市民と行政が協働してまちづくりをしていると思う市民の割合 ・ 地域コミュニティ活動に参加している市民の割合 ○ 地方創生を担う人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を支援する人材(集落支援員、地域おこし協力隊) ・ 高校、大学等との連携取組事業数 ○ 災害に強い、安全なまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、地域、行政の防災対策に安心感を持つ市民の割合 ○ 時代にあった、持続可能なまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活するにあたり機能的なまちとして整備、各種施設が配置されていると思う市民の割合 ・ 中山間地域でのサービス拠点箇所(小さな拠点など) ・ 公共交通の市民満足度 ○ 生涯学習・スポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習を習慣化している市民の割合(趣味も含む) ・ スポーツを習慣化している市民の割合 ・ 芸術・文化・歴史について鑑賞・活動している市民の割合 	<p>80.0%(2024年):現状72.6%(2018年)</p> <p>82.0%(2024年):現状81.7%(2018年)</p> <p>35.0%(2024年):現状31.8%(2018年)</p> <p>59.0%(2024年):現状51.3%(2018年)</p> <p>40.0%(2024年):現状33.5%(2018年)</p> <p>6人(2024年):現状3人(2019年)</p> <p>15事業(2020～2024年累計):現状2事業(2018年)</p> <p>80.0%(2024年):現状58.1%(2018年)</p> <p>65.0%(2024年):現状59.7%(2018年)</p> <p>3箇所(2024年):現状1箇所(2018年)</p> <p>67.0%(2024年):現状66.9%(2018年)</p> <p>35.0%(2024年):現状29.4%(2018年)</p> <p>30.0%(2024年):現状24.5%(2018年)</p> <p>50.0%(2024年):現状46.4%(2018年)</p>	<p>3 健康な国民を育てよう</p> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> <p>4 質の高い教育をみんなに</p> <p>14 海の豊かさを守ろう</p> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> <p>15 持続可能な都市を構築</p> <p>6 質の高い雇用を創出</p> <p>16 働きがい、経済成長、社会参加を推進</p> <p>7 持続可能な消費を推進</p> <p>17 気候変動に具体的な対策を</p> <p>10 人や国・地域間の公平を推進</p> <p>11 持続可能な消費を推進</p>

※1 情報が溢れている現在(Society 4.0)の課題に対して、IoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)などの最新テクノロジーを活用した便利な社会

※2 2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの17の国際目標